

(2) 新規フィールドアクション「運動広場（東側）の活用」

活用計画：令和2年度にビジョンに基づくテーマに沿ったエリアづくりに向けた民間活力の導入を想定。

進捗状況：新嵐山スカイパーク用地の有効活用に向け、公共投資を想定していないエリアにおいて、民間事業者活力との連携を図るため、プロポーザルを実施。令和2年4月23日に新嵐山スカイパーク用地活用事業プロポーザル審査会を開催し、事業者を選定。

※昨年の6月から7月までの期間で実施したサウンディング調査に参加した事業者のうち、利活用について興味を示された2事業者に対して案内。なお、公募期間は、令和2年4月1日から4月10日まで。

今後の予定：選定結果に基づき、令和2年5月からの土地貸付に向け、事務を進める。

(3) 管理運営の手法

活用計画：指定管理者制度を基本とし、維持管理等の運営を民間事業者に委託する「公設民営方式」を想定。

進捗状況：公募条件の整理、検討中。

今後の予定：令和2年6月に公募を開始し、9月に事業者選定、12月に指定管理者の指定というスケジュールを想定。

Reborn SKYPARK

新嵐山活用計画（アクションプラン）
「Rural inn ザ・スカイパーク」

具体的アクション⑤ 既存施設のリノベーション

⑤既存施設のリノベーション（再生・改革）

→ 既存フィールドの見直し及び新規フィールドの活用に基づくプランを具現化するため、既存施設のリノベーションを実施

リノベーション1（ステイフィールドアクション）

- ・ 宿舎のリニューアル
→ コンセプトに基づくテーマを表現した雰囲気づくり
 - ・ 森に泊まる【Forest inn】の設置（PG場Aコース内）
 - ・ キャンピングエリアの設置（グランピング、オートサイト）
→ ランニングコスト（人件費・保守費用）の削減
管理の効率化
- ①現オートキャンプ場の廃止 ②パークゴルフ場の見直し
③ヤasmottの活用 ④フォレストハウスの活用

具体的アクション⑤ 既存施設のリノベーション（つづき）

リノベーション4（新規フィールドアクション）

・牧場の活用

→ 放牧地として使用している牧場（夏のゲレンデ）について、管理に支障のない範囲内でテーマに沿った活用を図る。

①グリーンシーズンのアクティビティフィールド（マウンテンバイク、バギーなど）

②絶景ロッジの設置

・運動広場の活用

→ 不定期開催のイベント利用のみとなっている運動広場について、管理の効率化を図るため、キャンピングエリアとして活用する。

① オートサイト（車の横にテントが張れる） の設置



※イメージ図

※リノベーション1から4までの下線部分は
公共による投資（新規・改修）を想定



Reborn SKYPARK



リノベーション1 ステイフィールドアクション

○ 宿舎のリニューアル（レストラン）

※現況：国民宿舎新嵐山荘

※現況：1F レストラン

※イメージ

・地域性を活かした
コンセプトレストラン

・芽室町の食材発信

Site map labels: ヤスモット (休憩舎), 国民宿舎新嵐山荘, ステイフィールド, スノーフィールド, パークゴルフ場, スカイフィールド, キャンピングエリア, フォレストハウス (休憩舎), オートキャンプ場, 新嵐山展望台, 運動広場.

リノベーション1 ステイフィールドアクション (つづき)

○キャンプエリアの設置 (オートサイト)

※現況：運動広場 (西側)



※イメージ



・フォレストハウスは管理棟としての機能併設を検討

※現況：フォレストハウス



新嵐山展望台
スカイフィールド



・ドックランの併設



リノベーション1 ステイフィールドアクション (つづき)

○キャンプエリアの設置 (グランピングサイト)

※現況：PG場Dコース

※現況：ヤスマット

ヤスマット (休憩舎)

ステイフィールド

パークゴルフ

スカー...

キャンプエリア

運動広場

オートキャンプ場

フォレストハウス (休憩舎)

国民宿舎 新嵐山荘

※イメージ

・ヤスマットは管理棟としての機能併設を検討

リノベーション4 新規フィールドアクション

○牧場の活用

※現況：牧場



・グリーンシーズンのアクティビティ
フィールドに活用

○運動広場の活用

※現況：運動広場（東側）



・地域資源を活用した新たな魅力づくり
民間事業者との連携 = 土地賃借を想定

リノベーション・プラン【優先順位】

[ステイフィールドアクション]

① キャンピングエリアの設置

- ・ オートサイトの設置【2021年（令和3年）】
※運動広場（西側）の一部を使用し、2020年（令和2年）
はフリーサイトとして暫定運営
※冬期間の営業も想定
- ・ フォレストハウスの活用【2021年（令和3年）】

② 宿舎（レストラン）のリニューアル【2021年（令和3年）】

- ・ 1階レストランのリニューアル
- ・ 2階レストラン機能の見直し
- ・ 1階休憩室（小上り含む）の活用

リノベーション・プラン【優先順位】

[ステイフィールドアクション]

③ 宿舎（客室）のリニューアル【2022年（令和4年）】

- ・ 客室数の見直し

④ 森に泊まる（Forest inn）の設置【2023年（令和5年）】

⑤ キャンピングエリアの設置

- ・ グランピングサイトの設置【2023年（令和5年）】
- ・ ヤスモットの活用【2023年（令和5年）】

リノベーション・プラン【優先順位】

[新規フィールドアクション]

①運動広場（東側）の活用

- ・ビジョンに基づくテーマに沿ったエリアづくりに向けた民間活力の導入【2020年（令和2年）】

※運動広場の一部賃借を想定

②牧場の活用

- ・ファットバイク、バギーの導入【2021年（令和3年）】

※2020年（令和2年）は試行期間

※グリーンシーズンのアクティビティフィールドとして活用

リノベーション・プラン【ロードマップ】

ステイ
フィールド

スノー
フィールド

スカイ
フィールド

新規
フィールド



⑥管理運営の手法（民間活力の導入）

→ 公設民営方式

町が施設等を整備

維持管理・運営を民間事業者に委託

- 町が財産（固定資産）として持ち続けることを前提に進めているため、宿舎・スキー場・パークゴルフ場・展望台などの現有施設は公共（町）で整備する。
- 財源については、地方債（辺地債）や助成金（スポーツ振興くじ助成事業）の活用、ふるさと納税を活用して自治体が行うクラウドファンディングの導入を検討する。

具体的アクション⑥ 管理運営の手法（つづき）

- 委託方式は指定管理者制度を基本とし、維持管理にかかる費用は指定管理料として民間事業者へ支払う。なお、期間については3～5年を想定する。
- 施設（建物・土地）の一部を賃借するケースも想定する。
- 指定管理業務に影響がない範囲での付帯事業を認める条件として、施設使用料の支払いを求める。

○期間限定キャンプ場イベント「ONE DAY CAMP」

フリーキャンプサイト（ゲレンデキャンプ）



春から秋にかけて、放牧地として使用している牧草地の一部を期間限定（6～9月）のキャンプ場イベントに活用したい。

- ・フリーサイトキャンプ【ゲレンデCAMP】→ 20区画程度を想定
- ・ダンボールソリ、米袋ソリなどで遊ぶメニューを提供

